

平成26年度卒業生進路決定状況

進学先	合格者数	就職先	合格者数
国公立大学	25名	公務員	9名
私立大学	108名	自衛官	7名
私立短期大学	10名	民間企業	50名
看護学校	9名		
専門学校	55名		

※合格者数は延べ人数となっています。

国公立大学合格者
開校以来最多の25名!

静高ホームページ <http://www.shizunai.hokkaido-c.ed.jp/>

北海道教育大をはじめ、金沢大、愛媛大など道内に限らず健闘しています。これは生徒の興味・関心と各大学の研究分野を全職員で分析・検討し、広い視野に立った進学指導を行ってきた結果と考えます。そして特筆すべきは、その中の90%以上が厳しい一般入試を乗り越えての合格であったことです。この一般入試での勝負強さは国公立大学のみならず、道内の難易度の高い私立大や看護学校にも及んでいます。特に、ほかの都府県に比べ、難易度が高い看護学校への進学でも、5年連続決定率100%を達成しています。

静内農業高校は、昭和53年に日高地方唯一の農業高校として設立され、今年度で37年目を迎えました。平成16年度に生産科学科と食品科学科の2学科を設置し、食料生産と環境保全、地域産業の特色を活かした全国唯一の競走馬の生産、育成と乗馬教育などの農業教育を展開しています。

学校紹介



このように、静内高校は単位制普通科の進路多様校として、複合的な学習・進路指導を行うことによつて着実に成果を上げてきています。今後も多様であることを強みに変え、子どもたちと地域に必要とされる学校作りを推進してまいりますので、ご支援をお願いいたします。

国立教育研究所 研究指定校事業

また、「しずないミルク学校」と呼ばれる食育活動や「デュアル派遣実習」と言った実習、農業クラブ活動、部活動等、さまざまな体験を通して、地域と積極的に係わることにより、生徒一人ひとりの社会性やコミュニケーション能力を育んでいます。

平成26年度・27年度の2年間、『地域農業や地域社会の持続的かつ安定的な発展に寄与する産業人育成に関する研究』を研究主題として日々の授業改善など、指定校事業に取り組んでおります。この研究指定をきっかけとして、地域農業等の人材の育成・確保のシステムを構築するための具体的方策を協議する場として、酒井新ひだか町長、北村日高教育局長をはじめ21名出席のもと『静内農業高校地域産業人育成連携協議会』を設立いたしました。地域関係機関と相互の連携・協力のもと、地域社会

地域に支えられた 進路活動



の発展に寄与することができ、産業人の育成に努めてまいります。

本校は平成26年度、進学・就職ともに進路決定率100%を達成することができました。インターンシップやデュアル派遣実習などさまざまな行事において地域の皆様に支えていただきながら、生徒一人ひとりが進路実現を果たすことができました。特に、就職者に関しては、毎年6月下旬に実施している面接対策講座で地元企業の方々からご指導をいただき、生徒の



今年度、7名の道外出身者を含め48名の新入生を迎え入れてスタートを切りました。馬産地である日高唯一の農業高校として、地域の皆様の期待に応えることができる生徒の育成に、これからも励んでまいります。

町民に知ってもらおう！繋がろう！ わが町 高校PR

シリーズ第1回 入学式、進路結果



※静内高等学校、静内農業高等学校の近況報告などを年4回掲載します。

- ①5月号 (進路結果、入学式等)
- ②9月号 (部活動の状況等)
- ③12月号 (高校の状況、お知らせ等)
- ④3月号 (高校の状況、お知らせ等)

学校紹介



静内高校は、昭和16年に「北海道庁立静内農業学校」として設立されました。改称や学科の増設、廃止を繰り返して、昭和25年に現在の名称である「北海道静内高等学校」となりまし

小学校や中学校に比べると高校の現状がどのようになっているのか、皆さんは知っていますか。家族や親戚等、身近に通っている方がいないとあまり知る機会がないように思えます。この特集は新ひだか町に位置する高等学校2校の現状を町民の皆さんに知ってもらいたいという思いからできたコーナーです。3か月に一度のペースで年4回掲載します。

静内ではかなえる！ 静高プライド①

単位制7年目を迎える本校は、191名の新入生とともに今年度新たなスタートを切りました。今号では、本校の進路状況について皆様にお知らせいたします。

まず、就職においては、一時期62%まで落ち込んだ内定率は回復し、現在は6年連続で就職内定率100%を達成しています。さらに、公務員就職対策を充実させ、管内のみならず、高校生にとっては難関といわれる北海道職員や札幌市職員にも合格者を出すようになりました。

また、進学においては、以前は推薦入試で数名しか合格できなかった国公立大に対し、特別進学クラス初年度卒業生が11名の合格者を出して以来、5年連続で15名程度の合格者を出してきました。そして、今春はついに25名の合格者を出すことができました。進学先も北海道大、小樽商科大、